

原台の風

平成30年度 第11号 (通算291号)
—佐西学校だより—
平成31年2月28日発行
〔発行責任者〕
長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

いい顔して、もう1回勝負してほしい

校長 宅島 健司

私が教頭時代、2番目に嫌いな仕事は、高総体開会式で団長として行進することでした。行進は見た目より遥かにきつく、4回経験しましたが、手を大きく振り足を上げ、選手とともに足をそろえて行進することはとても辛いものでした。しかし、1番嫌だったのは、後期受験者集会でした。後期受験をするということは、前期受験に不合格しているということです。自分の目標に向かって最大限の努力をしながら、不合格になった生徒の顔を見るのは本当に辛いことでした。話す場合には何を伝えるか、真剣かつ真摯に考え、言葉を選びました。

ある年の後期集会で、校長先生の話が終わり、進路主任や学年主任の話が終わり集会そのものは終了しました。その後、担任がクラスの生徒を集めて、話をするのですが、その中で、ある担任が「ひるむな」と大音声で語り始めたのを覚えています。

その言葉は、その後の人生で、私を支える言葉となりました。苦しい状況の中で、説明責任を果たし、話をしなければならぬときがあります。例えば、前年度食中毒で新聞を騒がせ、生徒や保護者に心配をかけていながら、それでもベトナム研修旅行を決行しようと、平成30年度育友会総会後の学年育友会に臨んだ時です。それまで何通りもの原稿を書いては書き直し、前日は3回目が覚めました。その会場に向かう時、心で「ひるむな」と言い聞かせました。どれほどこの言葉に勇気をもたらしたかわかりません。

さて、これもある年の3月の出来事でした。当時その高校では、受験する大学の大学生が受験の引率を手伝うという慣習ができていました。前期試験の受験引率を手伝ってくれた先輩が、元担任でありその年の学年主任から前期試験の結果を聞いた後、送ってきたメールに「厳しいですね。だけど残念だった後輩には、追い込まれた時こそ身をそらしたり、気を引いたりせずに、いい顔して、もう1回勝負してほしいと思います。」と綴られていました。

その先輩は旧帝大に合格して進学したけれども、いろいろな考えからその大学を辞め、自宅で浪人して再び違う国立大学に合格し、そこでアルバイトをしながら、研究に励んでいるという事情を知っていたからでしょうか、この言葉はその年に聞いたり読んだりしたどんな言葉より、心に響いた言葉でした。最後の最後まで粘り続けようと訴えた私の言葉より、その高校で3年間を過ごし、様々な経験を経て今ある国立大学生であるこの先輩の一言は、苦しい時・追い込まれた時・失敗した時こそ、その人の真価が問われていることを表現しているようにも思えました。部活動でも、普段の学習でも、受験でも、人生においても、失敗してもくじけても、「いい顔して、もう1回勝負してほしい」と思うし、自分もそうでありたいと願っています。

君たちがもし後期試験に臨むようなことになったとしても、もう1回挑戦した結果、一人でも多くの人に合格の喜びを勝ち取ってほしいと思います。そして何ものにも代えがたいその喜びを味わい噛みしめてほしいと思います。そのことを私たち教職員も共に喜びたい。「最後までよく頑張ったな」と笑顔で握手をしたい。そのために私たち教師も頑張っているのだと思います。数を競っていると言われる。しかし、その生徒の人生をかけた1を大切にす進路指導であり続けたい。


そして1・2年生にも伝えたい。「西高生は、最後の最後まで頑張り抜くんだぞ」と。

校内マラソン大会 (体育科より)

西高マラソン大会

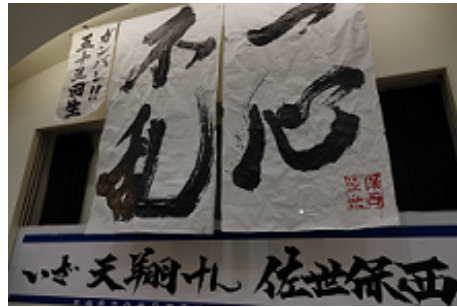
絶好のマラソン日和の中、平成30年度第25回校内マラソン大会が開催されました。今年も沢山の名場面を生んだこの大会。特に印象的だったのは、男子ゴール前5mでの逆転優勝。2年生の意地とプライド、そして昨年の悔しさを晴らす1年間の体力づくりが証明されたことを物語っていたのではないのでしょうか。今年は競技場でのトラック1周に沢山の応援が飛び交い、学年やクラスの枠を超え、西高全体の団結力が増した大会となりました。

大会の開催にあたり、育友会・母の会の皆様の温かいご支援本当にありがとうございました。大会準備期間を通して、生徒の体力の向上には目を見張るものがありました。今後も健康の保持・増進の為に、しっかりとした体作りに励んでいこうと考えています。

男子	～個人の部～	女子
1位 小鳥居勇太 (2-6)		1位 土肥 瑞希 (2-2)
2位 金崎 智樹 (1-2)		2位 山口 集凜 (2-3)
3位 下津浦海斗 (2-1)		3位 濱崎 千翔 (1-5)
4位 安部 泰盛 (2-3)		4位 平田 彩乃 (1-3)
5位 中野 滉人 (1-6)		5位 松富ほのか (2-1)
6位 廣川 颯汰 (1-2)		6位 田島 萌絵 (1-3)
7位 小柳 智誠 (2-1)		7位 黒石 るな (1-2)
8位 福田 時也 (1-5)		8位 吉居 優花 (1-1)
9位 山中 悠暉 (2-1)		9位 古市 滯 (1-1)
10位 浅井 真祥 (1-4)		10位 岩村 莉奈 (2-1)

最後まで粘りぬけ！ 53回生！

1月19日(土)20日(日)の2日間、大学入試センター試験が実施されました。今年も昨年引き続き長崎国際大学での受験になりました。当日は多くの生徒が、在校生の暖かいエールを受けて佐世保西高校をバスで出発しました。前日のセンター試験受験者集会では、宅島校長先生・中村三学年主任の熱い激励のもと、センター試験での検討を53回生全員で誓いました。6月に本校で進路講演会をしていただいたベネッセコーポレーションの田川先生からも激励のメッセージをいただき、生徒全員に配布しました。試験当日は3年生の先生方はもちろんのこと、他学年の先生方からも激励をいただき、生徒は先生方とのハイタッチをしながら受験に向かいました。この2日間大きな混乱もなく予定通り試験が実施され、西高生も2日間の長丁場でしたが、全力を出しつくし無事にセンター試験受験を終えることができました。



受験会場の激励文！

今年のセンター試験は国語やリスニングが易化し、地理Bや物理・化学が難化しました。全国の自己採点集計結果によると、5教科総合の平均点は昨年度と比較して文系が1.6点程度のアップ、理系が1.2点程度のアップとなり、全体としても昨年度より1.5点程度アップし、受験生の中にはいつもよりできたという感触を抱いた人も多かったのではないのでしょうか。しかし、大切なのは今からです。センター試験が終わったからといって、まだ合格が決まった人は1人もいません。2次試験は問題の難易度がさらに上がります。生徒にも自分が受験する教科のプロになりなさいと伝えていきます。現役生はこれからが一番伸びる時期だからこそ、2次試験までのこの1ヶ月を今まで以上に気を引き締めて学習する必要があるということをお伝えしました。



試験前の緊張！

現在は、国公立前期試験に向けての特別編成授業も終わり、学校では、中期・後期に向けての特別編成授業がスタートしています。53回生も卒業を迎えますが、西校では卒業後も最後の最後まで合格を勝ち取るための指導を続けていきます。中期・後期は見た目上の倍率は高いのですが、前期で合格した人や私立等に合格して受験をやめてしまう人も多く、実際の倍率は思ったほど高くありません。本校の国公立大学の合格者も約2割は中期・後期の合格者です。最後まで気持ちを切らさなかった人に大きなチャンスがめぐってきます。ぜひ、最後まで気持ちを切らさずに頑張ってください。

私たち西校職員も53回生の最後の1人の受験結果がわかるまでとことん付き合います。最後まで強い気持ちで受験に臨み、1人でも多くの生徒諸君が夢の実現を成し遂げることを心から願っています。

《3月の行事予定》

1	(金)	第53回卒業証書授与式
5	(火)	大掃除・高校入試会場設営(生徒午前日課)
6	(水)	高校入試1日目
7	(木)	高校入試2日目
8	(金)	公立大学二次試験(中期)
9	(土)	土曜講座
11	(月)	検査場復元
12	(火)	球技大会(午後) 国公立大学二次試験(後期)
13	(水)	球技大会(終日) 追認審査
15	(金)	合格者発表(9:30~) 高校入試追検査
16	(土)	土曜講座
18	(月)	合格者登校日 新入生スタディーサポート
19	(火)	県英研事務局引継
20	(水)	高校入試追検査合格者発表(9:30~) 追検査合格者登校日
22	(金)	後期終業式 離任式
23	(土)	春季学習会(午前)
25	(月)	春季学習会(午前) 転入審査(午前)



保健相談部

1月17日(木)にNPO法人 DV防止ながさきから、山下紀美子先生と大川内紀美子先生をお招きして、デートDV防止教室を行いました。講演会では、生徒によるケーススタディーを行いながら生徒自身が身近な問題と捉えられるようにしており、演じる側も見る側も真剣な表情で取り組んでいました。生徒の感想の中には、「デートDVと聞くと激しい暴力や暴言などが思い浮かぶけど思ってたよりも身近なことが多く驚きました。」や「デートDVについての知識を持つておくことで友人や家族の相談に乗ったり苦しんでいることに早く気づくことができると思いました。」などがありました。



部活動の結果報告

<女子ハンドボール部>

平成30年度代47回九州地区高等学校ハンドボール選抜大会第42回全国高等学校ハンドボール九州地区予選大会

第3位(全国大会出場決定 3/23~29)

於：千葉県市川市

<弓道部> 女子団体 第3位

女子個人 第4位 山下 七海、 第5位 木下 結推

男子個人 第4位 青木 陸

<その他>

平成30年度献血推進ポスターコンクール 高等学校の部 血液センター所長賞 北村日菜子
第38回全国高校生読書体験記コンクール 入選 古市 澗

*「入選」受賞者の在学期に、学校賞として「集英社 国語辞典」を贈呈。